

神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond 開催決定！

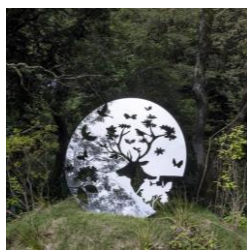


六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)は、神戸・六甲山の山上施設を舞台に繰り広げる現代アートの芸術祭 **神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond** の開催を決定しました。

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond には、過去最多となる3万3千人を超えるお客様にご来場いただきました。15回目を迎える今回は、名称を「**神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond**」に改め、さらに広域からのお客様にもお越しいただけるよう取り組んで参ります。

今後の情報につきましては Web ページにてお知らせいたします。

【長期展示】 2023年からの新しい取り組みとして、ROKKO 森の音ミュージアム SIKI ガーデンの下記作品は、2025年の芸術祭会期終了まで期間を延長しての展示を予定しており、会期外でもご鑑賞いただけます。



左から、船井美佐《森を覗く 山の穴》、三梨伸《石舞台上立つドリアン女王》、北川太郎《タカラモノ》、WA!moto. “Motoka Watanabe” 《黄色い双眼鏡の探検》

《神戸六甲ミーツ・アート 2024 beyond 開催概要》

【会期】 2024年8月24日(土)～11月24日(日)

【会場】 ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園、六甲ガーデンテラスエリア、風の教会エリア、トレイルエリアほか

[ひかりの森～夜の芸術散歩～]

【会期】 2024年9月21日(土)～11月24日(日)の土日祝の夜間

【会場】 ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園

【出展アーティスト】 60 組以上(予定)

【総合ディレクター】 高見澤清隆

■ 出展アーティスト、展示作品について

公募によって選出されたアーティストと招待アーティストの作品を展示し、これまで延べ520組以上のアーティストが六甲山上で作品の展示を行ってきました。六甲山上の観光施設を主な会場としてオープンエアな環境で六甲山の自然とアート作品を楽しみながら、会場となる各施設それぞれの魅力もお楽しみいただけます。

〈総合ディレクターからのコメント〉

優れた眺望で知られる六甲山は、神戸港開港以来さまざまな人や文化が行き交ってきました。守り育てられてきた豊かな山上の森にはそうした人々がもたらした歴史が積層しています。2010年、そこにアートを重ねる試みがスタートしました。それは今、新しい思考の文脈を提示するだけでなく、そこにある様々な価値の再発見を促して六甲山の魅力を深掘りするとともに、私たちの視界を広げる役割を果たしています。日常を少し離れ旅をするように様々な価値観と出会うことができる芸術祭、そうした場をアーティストとともに生み出すことが私たちの願いです。

■ 芸術祭のイメージ

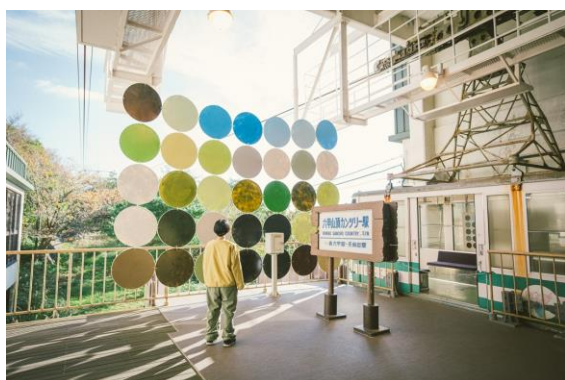
写真：岩本順平



加藤美紗《溢れる》2023 年



佐藤圭一《じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。》2023 年



わにぶちみき《Beyond the FUKUI》2023 年



WA!moto. “Motoka Watanabe” 《黄色い双眼鏡の探検》2023 年

資料に関するお問い合わせ先

神戸六甲ミーツ・アート事務局 広報担当：岡本、森下

六甲山観光株式会社 営業推進部 / TEL:078-894-2210 (平日 9:00~18:00)

広報用携帯電話：090-7104-3645 E-mail：press@rokkosan.com

六甲山ポータルサイト <https://www.rokkosan.com>